

3歳のお子さんの「対応のポイント」と「相談の目安」

《対応のポイント》

かんしゃく



◎まずは落ち着くのを待つ

➡その場を離れるなどして、まずは落ち着くのを待ちましょう。

ある程度落ち着いてから、お子さんの気持ちを聞いたり言葉にしてあげましょう。

◎原因を考え「予防」する

➡気持ちのコントロールがまだ難しい時期です。

普段から前もって予定を伝えたり、楽しい約束をして、先の見通しを持たせると、上手く気持ちを切り替えやすくなります。

人見知り・場所見知り

◎安心できるまで少しずつステップアップ

➡新しいことが不安なのかもしれません。初めは保護者様と一緒に取り組むなどして徐々に慣らせ、安心できるまで待ってあげると良いでしょう。

(例) 入園前

- ・園の様子や行き帰りの様子を見に行く
- ・パンフレットなどの写真を見せる
- ・入園後に使うものに慣れておく

このような準備でイメージがもてると、安心できます。

こだわりが強い



◎生活の中で困らない「こだわり」

➡特に対応は必要ありません。こだわる物が変わることもあります。

◎生活の中で困る「こだわり」

➡こだわる物を見せない、こだわる場所に行かない等、困る場面を予防することが大切です。

決めごとを作りやすいお子さんは、一度納得すると真面目に取り組む面があるので、生活の中で良い習慣を作ることも良いでしょう。

落ち着きがない



◎まずは環境を整える

➡気になるものが沢山目につく、テレビや動画がいつも流れている、などの刺激が多い環境では、落ち着くことが難しくなります。

◎集中しやすくさせる

➡目に入るものを減らしたり、音を消し静かな時間を作りましょう。スーパーなど外出する際には、家を出る前にお手伝いをお願いして、やることを作ってあげるのも方法の一つです。

指しゃぶり・性器いじり・どもり・チックなど



◎この年齢で、一時的にみられることが多い行動です

➡気になる行動でもやめさせようと頑張らず、温かく見守りましょう。

お子さんが楽しめる活動に誘ったり、他のことにさりげなく気をそらすのも良いですね。

《相談の目安（3～4歳のお子さん）》

家庭や幼稚園・保育園等で下記のような様子がありましたら、ご相談ください。
お子さんの成長や特徴に合わせた対応について、一緒に考えていきましょう。

コミュニケーションの力

- 質問に対してちぐはぐな答えが返ってくる。オウム返しが多い。
- 一方的に自分のしたい話をして、会話のやりとりが続きにくい。
- 先生の全体指示が理解できず、何をすべきか困ってしまう場面が多い。
- 困ったときに先生に助けを求めることが上手くできない。
- 言葉の数が少ない、発音がはっきりせず、他の人に伝わりにくい。

お友達とのかかわり

- 順番を待ったり、おもちゃを貸し借りすることが苦手。
- なかなかお友達とのトラブルが減らない。
- 一人遊びが多く、お友達と会話でやりとりすることが難しい。

集団行動

- マイペースに行動し、みんなの輪から外れてしまいがち。
- こだわりが強く、なかなか次の活動にうつれなかったり、怒りやすい。
- お母さんと離れることに不安が強く、幼稚園・保育園に慣れるのに時間がかかる。
- 席についていられず、活動に集中できない。
- 急な予定変更や、いつもと違う行事が苦手。



～気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。～

保護者の悩み等に関する相談先

都筑区福祉保健センター こども家庭相談

電話 **045-948-2349**

【相談日】月～金曜日（祝日・年末年始除く）

【時間】8：45～17：00（12～13時除く）